

バス停タイムス

2014年3月10日

No.18

発行者

成田隆浩

編集者

教宣部

JR東海労働組合新幹線地方本部

労働条件の改善を求めてSEKに申し入れ！

JR東海労新幹線地本は、出向している組合員の要求に基づき、3月6日、SMTに続いてSEKに団体交渉の申し入れを行いました。

SEKでも、労働条件についての改善すべき事項が多くあります。労働安全衛生法では「事業者が講ずべき快適な職場環境の形成ための措置に関する指針」があり「作業環境の整理」「作業方法の改善」などが示されています。働きやすい職場環境を求めて、共に職場から声を出しましょう。

主な要求は以下の通りです！

- 空調熱交清掃作業は現在8名体制であるが、申告対応2名が抜けると実質6名作業を余儀なくされる。また、水封清掃作業、ゴミ箱化粧カバー取り外し・シールはがしなどの業務が増えている。よって作業に見合った適正な要員を配置されたい。
- 検修庫内の待機場所には、椅子やベンチなど腰掛ける設備がなく常に立ちっぱなしの状態を余儀なくされている。よって、第二検修庫の臨時作業場、第一検修庫の待機できる場所に椅子またはベンチを設置されたい。
- 軸探室で探傷機が電源投入状態で待機していると電源用コンセントNFBが落ちるという事象が発生している。根本的な対策を講じられたい。
- JKビルSEK詰所がある4階の小便所は依然として悪臭がひどい時があり、原因を究明し適切な対策を早急に行うこと。
- JKビルSEK詰所がある4階の流し台は、お湯が出ないため不便を感じている。早急に給湯機能を設置し、快適な環境に改善すること。

この他にも、JKビル風呂の水漏れ、熱交の点呼は4階の詰め所で行うように変更することなども要求しました。

2月25日、私たちはSMTの年休問題の解決を訴えるビラを配布しました。「頑張ってください」「ありがとうございます」「年休が入るようになればいいけど」など激励の声をいただきました。JR東海労新幹線地本は、安全で明るく働きやすい職場をつくるためさらに声を出していきます。共に声を出しましょう。

懲罰的長期日勤・作業監視を直ちにやめろ！

2月に東京仕業検査車両所で作業手順を間違えた社員に対し、仕業検査時の16号車運転台担当時に毎回管理者が張り付いて監視をしています。また、3月に入り、本来の夜勤勤務ではなく、理由のわからない日勤勤務が多く指定されています。

このことは明らかに異常です。見せしめ・懲罰としか思えません。多くの人から「会社のしていることはひどすぎる」という声が上がっています。会社は直ちに異常な対応をやめるべきです。

作業手順の間違えは会社の対応が要因だ！

作業手順の間違えは起こそうとして起こす人はいません。今回も背後要因があります。

当日、本人は「1本目の仕業検査作業が終了したら当直に来るように」と言われていました。理由を聞いても「来ればわかる」という答えでした。本人は「何で呼ばれたのだろうか？」と気になった状態での作業を強いられました。このように、作業手順の間違えは会社の対応が大きな要因であることは明らかであり、起こるべくして起こったものといえます。

明るい職場をつくるため申し入れ！

特定の社員に見せしめ・懲罰的な対応を続けることは、第二、第三の作業ミスを生じさせることとなります。

JR東海労新幹線地本は、会社の異常な対応を直ちにやめるように申し入れを行いました。

大井基地で働く皆さん！明るい職場をつくるため、おかしいことはおかしいと共に声を出しましょう！

連絡先(新幹線地本) 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-6-5 TEL03-3201-0350
ホームページアドレス <http://www.geocities.jp/jrcushinkansen2/right.html>
メールアドレス jrcushinkansen@yahoo.co.jp

お気軽にアクセスしてください